

# フォレストニュース

植林が地球を救う

令和1年(2019)9月10日

No. 141

発行 高津啓洋

## アマゾンに広がる森林火災



少なくなり、雨量の減少につながり、ついには砂漠化に至るのではと、心配の種は尽きません。

レダからの報告によりますと、レダ周辺もパンタナールの自然が残る広大な森が連なっていますが、夜になると各所で森林火災が発生し赤々と燃えているのが確認できま

す。今年環境問題が大きく取り上げられています。度重なる大型の台風、ゲリラ豪雨。大切な命が危険にされることが多くなり、温暖化問題は命にかかわる問題となっています。

地球の肺と言われてきた熱帯のアマゾン熱帯雨林地帯が、7万カ所以上に火災が発生。(上下写真・アマゾン火災)

火災により、森の緑が失われ、水蒸気、蒸散作用が



す。そのために、昼間も風向きによって煙が、カスミがかかったように漂っている状態です。(上山報告)

## パラグアイの緑化目指して



パラグアイに派遣されている緑の会事務所が、パラグアイ国の青年連合の植樹活動に協力し、苗木の提供をここ数年継続して行われています。

イタ市と協力して多くの植林活動の実績を上げてきて、周辺地域のモデル的ケースとして、マスコミにも取り上げられるようになってきました。写真がたくさん送られてきたので、速報です。



[お知らせ] 10月14日(月)レダ周辺地域を中心に植樹活動を共にしている、(社)南北米福地開発協会の「レダ開拓20周年」が、京王プラザホテルで開催されます。